

○11番（宮原隆昌君）

11番、宮原です。

小豆島の表玄関としての土庄港の賑わいづくりについて質問いたします。

まず、令和5年6月の定例会におきまして、太陽の贈り物横の石の広場を開放し、夕暮れコンサートや、みなとまつり等のイベントで、土庄港を小豆島の表玄関としての賑わいを取り戻してはどうかと一般質問をいたしました。担当課長からは、太陽の贈り物広場の東側のユニット広場の貸し出しを計画しており、町民の方に利用していただき、賑わい創出につなげてまいりたいとの答弁がございました。

あれから2年以上経過しましたが、その後の石の広場の申し込みと利用状況及び今後の展望について質問いたします。

○議長（濱野良一君）

建設課長 赤谷淳君。

○建設課長（赤谷淳君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

チェジョンファ氏の「太陽の贈り物」がランドマークとして親しまれている土庄港2号吉ヶ浦緑地は、いわゆる映えスポットとしても、毎年多くの方々が訪れております。

しかしながら、日よけとなるオーニングを設置したユニット広場につきましては、利用の問い合わせは複数あったものの、現時点での利用実績は0件となっております。

そのような中、先般、観光庁の補助事業の採択を受け、ハード、ソフト両面から土庄港の賑わい創出、またハブ機能の強化に取り組んでいくことになりました。

土庄港周辺において、民間事業者によるキッチンカーや特産品販売などによるマルシェイベントやホビ一体験会の開催、また、手ぶらで身軽に観光ができるスマートロッカーの導入や島内交通情報を発信するインフォメーションサイネージの設置、さらには充電機能付き屋外ベンチの設置などの実証実験を行う予定となっております。

これらの取り組みに合わせて、町をいたしましても、ユニット広場利用拡大の方策や情報発信について再検討し、町民や観光客に親しまれる広場としての有効活用を図りたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○11番（宮原隆昌君）

十分期待が持てる答弁をいただきました。いずれにいたしましても、さまざ

まな団体や個人に利用していただくためには、町広報等での十分な周知が必要だと思いますので、土庄港の賑わい創出のために、よろしくお願ひいたします。

次の質問です。同じく令和5年6月の定例会において、担当課長から建設課で策定しております土庄町立地適正化計画の中に、まちなかウォーカブル推進事業というメニューがあり、この事業は、車中心から人中心への空間への転換を図り、まちなかの歩いて移動できる範囲において、道路・公園・広場等の整備や修復、利活用、滞在環境の向上に資する取り組みを重点的、一体的に支援し、心地が良く歩きたくなるまちづくりを推進する事業であることから、小豆島の表玄関である土庄港からエンジェルロードまでの区間を指定することにより、賑わい創出を図つていけないか検討しているところであるとの答弁がございました。

現在、土庄町立地適正化計画は完成しまして、次の段階に入っていると認識しておりますが、現在の職員の配置状況や今後の賑わい数値に向けた取り組みを考えますと、ぜひ地域おこし協力隊の活用が不可欠だと思いますが、執行部の見解をお伺いいたします。

○議長（濱野良一君）

赤谷課長。

○建設課長（赤谷淳君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

土庄港からエンジェルロードに至る一帯は、町の中心となるエリアであります。このエリアの魅力向上や賑わいの創出、居住利便性の向上を図るため、立地適正化計画の重点プロジェクトであるウォーカブル事業の展開により、計画性・連続性をもったまちづくりを推進していきたいと考えております。

今年度は、国の補助金を活用した官民連携まちなか再生推進事業による、官民連携の対話の場となるエリアプラットフォームの立ち上げを予定しており、その中で社会実験や対話集会を重ね、賑わい創出を含めたエリアの課題解決に向けた方向性や具体的な取り組み、ロードマップ、将来像などを検討していくこととしております。

今後、エリアプラットフォームでの検討が進み、地域と連携しながら取り組んでいく活動や施策の内容が形作られていく中で、地域おこし協力隊の活用についても検討していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○11番（宮原隆昌君）

やはりここは計画の策定とともに、中心となって実行する職員が必要だと思

います。ぜひ、地域おこし協力隊の活用を検討していただきたいと思います。

最後の質問です。土庄港は香川県の管理港湾ですが、高松行きフェリー乗り場には雨よけの屋根もなく、この夏は炎天下の中、10分以上車両が降りるのを待って乗船しております。ぜひ、土庄町から香川県に通路シェルター、通路の屋根のことでございますが、の設置を強く要望していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（濱野良一君）

赤谷課長。

○建設課長（赤谷淳君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

土庄港のフェリー乗降客用の通路シェルター設置につきましては、利用者の安全性と快適性を確保するために、検討が必要であると認識しております。

まずは、歩行者および車両動線について現状を把握・整理したうえで、香川県、船舶会社等の関係者と協議し、意見調整をしていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○11番（宮原隆昌君）

坂手港などを小豆島内の他の港は整備が進んでおります。以前から申し上げていますように、車両と人間の土庄港全体の動線の見直しが必要であり、ターミナルビルなどの利用方法や、高松行きの高速で切符売り場の建て替えなどの課題解決が必要だと思いますが、まずは、利用者が一番困っている問題にスピード感を持って取り組んでいただきたいとお願いし、質問を終わります。